IX. 研究活動と学会発表・出版物・論文等

Research Activities and Published Papers

1. 研究開発業務の概要

Outline of Research and Development Activities

	田坊 / , , , LE製I 회 (a /l +) - M > Vz III II → Vz U
①血小板製剤における凝固因子活性及び凝	置換血小板製剤の保存に伴う凝固因子活性、
固能の測定	トロンビン生成能及びクロット形成能の変動の
(血液事業研究 製剤-118:3年目/3年計画)	測定
②赤血球液の長期保存に関する検討―新規	異なる温度で保管した全血から調製した赤血球
赤血球保存液 AS-7 (SOLX) の評価―	の保存における AS-7 (SOLX) と MAP の比較
(血液事業研究 製剤-129:2 年目/2 年計画)	
③期限切れ血小板の有効利用に関する基礎	期限切れ PC から調製した platelet lysate の性
検討―ex vivo 細胞増幅における期限切れ	状に対する原料 PC の単位、凍結保管温度、
血小板製剤由来 platelet lysate の有効性	凍結保管期間および、融解後の安定性の評価
の評価―	
(血液事業研究 製剤-132:1年目/2年計画)	
④全血由来血小板製剤の調製に係る検討	血小板通過型白血球除去フィルターにより白除
(血液事業研究 製剤-131:1年目/2年計画)	した全血からの血小板濃厚液の調製と血小板
	の性状・機能評価
⑤血小板凝集塊形成の抑制対策	(a) PC 原料血液輸送中の凝集抑制対策の検
	討
	(b) 血小板凝集塊を形成した PC の性状試験
⑥製造所及び輸送体制変更にかかる血液製	製造所集約及び輸送体制変更後の照射赤血
剤の品質データ取得	球液-LR の品質の確認
⑦赤血球製剤に影響を及ぼす温度に関する	室温に短時間おいた赤血球製剤の品質評価
検討	
⑧献血者におけるE型肝炎ウイルス(HEV)	(a) HEV NAT 陽性検体の精査
感染実態調査	(b) HEV NAT 陽性ドナーのフォローアップ
(AMED 研究: 2年目/3年計画)	
⑨E 型肝炎ウイルス (HEV) 核酸増幅検査	(a) HEV RNA 検出用 in-house real-time RT-
(NAT) スクリーニング陽性献血者の解析	PCR 法の感度・特異性の改良
(血液事業研究 G 感染-97: 2 年目/2 年計画)	(b) 個別 HEV NAT スクリーニング (TMA 法・
	PANTHER) 試薬の評価
	(c) 個別 HEV NAT 陽性ドナーの解析
L	

⑩細菌の 16S rRNA を標的にした迅速・高感	(a) RT-PCR 試薬中の混入細菌核酸処理法の
度スクリーニング法の構築	
(血液事業研究 G 細菌-14: 1 年目/2 年計画)	(b) 16S rDNA と RNA を標的にした場合の検出 感度の比較
⑩献血者における好中球抗体の保有頻度と	(a) 献血者の好中球抗体を効率よくスクリーニン
臨床的意義の解明	グする方法の開発
(血液事業研究 G 白-72: 3 年目/3 年計画)	(b) 献血者の好中球抗体保有頻度の調査
	(c) 献血者から検出された好中球抗体の生理
	活性について
⑫Luminex System を用いた血小板遺伝子型	Luminex を用いた HPA ジェノタイピング試薬の
の多項目同時解析技術の構築	開発
(血液事業研究 G 白-79: 2 年目/2 年計画)	
⑬HNA に対するヒト化モノクローナル抗体の	遺伝子組換え技術を用いたマウスモノクローナ
作製	ル抗体のヒト化
(血液事業研究 G 白-81: 1 年目/2 年計画)	
④血小板減少を惹起するアロ抗体の臨床的	(a) in vitro 血小板貪食試験を用いた HPA 抗体
意義の解明	の臨床的意義について
(血液事業研究 G 白-82: 1 年目/3 年計画)	(b) 献血者血清中の HLA 抗体サブクラスの臨
	床的意義について
	(c) エピトープの異なる HLA 抗体の臨床的意
	義について
⑤輸血副作用と白血球プライミング因子の探	(a) 輸血副作用発症患者と好中球活性化因子
索とその作用の解明	の関連について
(血液事業研究 G 副-95: 1 年目/2 年計画)	(b) 好中球活性化因子の生化学的特徴と同定
⑥赤血球型の遺伝子検査に関する研究	Luminex を用いた DNA タイピング試薬の開発
(血液事業研究プロジェクト)	血液型遺伝子の全国調査
⑰Luminex を用いた Partial D 遺伝子タイピン	Luminex を用いた Partial D 同定用の Rh 遺伝
グの検討	子タイピング試薬の開発
(血液事業研究 P 赤-102:3 年目/3 年計画)	
®Luminex を用いた MNS 血液型低頻度抗原	Luminex を用いた稀な MNS 血液型抗原検査
の遺伝子タイピングの検討	用の遺伝子タイピング試薬の開発
(血液事業研究 赤-104: 3 年目/3 年計画)	
⑲ICFA 法を用いた不規則抗体検査の検討	Luminex を用いた ICFA 法による不規則抗体
(血液事業研究 赤-117:2年目/2年計画)	検査法の構築

②不規則抗体による赤血球の分化成熟抑制	赤血球系前駆細胞の分化成熟過程における
の解析	血液型抗原の発現状況の解析
(血液事業研究 赤-118:1年目/2年計画)	不規則抗体による赤血球への分化成熟抑制の
	解析
②ABO 亜型におけるA・B 抗原発現異常の	赤血球系前駆細胞の分化過程における A・B
解析	抗原の発現解析
(血液事業研究 G 赤-119: 1 年目/2 年計画)	

2. 学会発表演題

学会(月日,場所)	演題	発 表 者
第64回日本輸血学会総会	自己免疫性好中球減少症におけ	宮崎 孔1),東 寛2),松林圭二1),
(4月28日-30日, 京都)	るneutrophil associated IgG測定の 意義	佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ³⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ³⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 旭川医科大学小児科
		③ 北海道赤十字血液センター
		高橋大輔 ¹ , 松林圭二 ¹ , 佐藤進一郎 ¹ , 加藤俊明 ¹ , 池田久實 ² , 紀野修一 ¹ , 山本 哲 ² , 高本 滋 ¹ ¹ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ² 北海道赤十字血液センター
	FCMを用いた低頻度抗原に対する 不規則抗体のスクリーニング	宮崎 孔 ¹⁾ , 大橋 恒 ¹⁾ , 松林圭二 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
	血漿のクロット形成能に及ぼす 影響について	布施久恵¹),藤原満博¹),若本志乃舞¹, 内藤 祐¹),林 宜亨¹),秋野光明²), 小野寺秀一³),茶谷 真³),栗原勝彦³), 柴 雅之⁴,本間稚広¹),山本 哲⁵), 池田久實⁵),紀野修一¹),髙本 滋¹ ¹) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²) 日本赤十字社血液事業本部 ³) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所 ⁵) 北海道赤十字血液センター
	赤血球前駆細胞におけるJr ^a 抗原 の発現解析	内村大祐 ¹⁾ , 宮崎 孔 ¹⁾ , 大橋 恒 ¹⁾ , 松林圭二 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
	2回洗浄した血小板の性状と保存 に伴う機能の経時的変化	林 宜亨 ¹ , 若本志乃舞 ¹ , 布施久恵 ¹ , 藤原満博 ¹ , 遠藤正浩 ¹ , 本間稚広 ¹ , 山本 哲 ² , 池田久實 ² , 紀野修一 ¹ , 髙本 滋 ¹ ¹ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ² 北海道赤十字血液センター
	レーザー血流計を用いた血小板 献血時における血流量ならびに 脈動数の連続測定とVVR予知への 取り組み	1) 北海道赤十字血液センター 2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		坂田秀勝 ¹⁾ , 中内健太 ¹⁾ , 飯田樹里 ¹⁾ , 伊原弘美 ¹⁾ , 松林圭二 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 高本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター

	血液センターのMR活動から見えて	森下勝哉¹¹,葛間一裕¹¹,紀野修一¹¹,
	きた小規模医療機関の輸血の現状	牟禮一秀1), 山本 哲2), 髙本 滋1)
	について	1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
	平成26年度特殊製剤国内自給	國米修平1), 鹿野徳憲1), 坂本賢一1),
		石丸 健 ¹⁾ , 平 力造 ¹⁾ , 紀野修一 ^{1,2)} ,
	追加接種プログラム)の意義及び	
	課題について	1) 日本赤十字社血液事業本部
		2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		坂本賢一1), 國米修平1), 鹿野徳憲1),
		石丸 健 ¹⁾ , 平 力造 ¹⁾ , 紀野修一 ^{1,2)} ,
	種プログラム)の効果について	高橋孝喜1)
		1) 日本赤十字社血液事業本部
		2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	洗浄血小板の保存におけるクロット	藤原満博1), 若本志乃舞1), 林 宜亨1),
	形成能の変化	内藤 祐1,遠藤正浩1,本間稚広1,
		山本 哲2),池田久實2),紀野修一1),髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		²⁾ 北海道赤十字血液センター
	洗浄血小板におけるトロンビン	若本志乃舞1),藤原満博1),林 宜亨1),
	生成能	内藤 祐 ¹ , 遠藤正浩 ¹ , 本間稚広 ¹ , 山本 哲 ²
		池田久實 2 ,紀野修 $^{-2}$,髙本 滋 1
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
		坂口良典 ^{1,2)} , 谷越悠耶 ^{1,3)} , 三浦邦彦 ^{1,4)} ,
		高橋道範 ^{1,5)}
	「輸血検査コントロールサーベイ」	
	実施報告•第1報	1) 日本輸血・細胞治療学会北海道支部認定輸血検
		查技師協議会 ②)> 200 大阪
		²⁾ NTT東日本札幌病院
		③ 砂川市立病院
		4) 手稲渓仁会病院
		5 第一岸本臨床検査センター
		6) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		7) 吉田学園医療歯科専門学校
	北海道認定輸血検査技師協議会	高橋道範1,2), 谷越悠耶1,3), 坂口良典1,4),
	「輸血検査コントロールサーベイ」	三浦邦彦 ^{1,5)} ,大橋 恒 ^{1,6)} ,高橋智哉 ^{1,7)}
	実施報告第2報アンケート結果から	1) 日本輸血・細胞治療学会北海道支部認定輸血検
	認定技師の存在意義を検証する	查技師協議会
		2) 第一岸本臨床検査センター札幌
		③ 砂川市立病院
		4) NTT東日本札幌病院
		⑤ 医療法人渓仁会手稲渓仁会病院
		6 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
英四回北海洋松布2002年32	Dula and Dalani	⁷⁾ 吉田学園医療歯科専門学校
第28回北海道輸血シンポジ	_	高本 滋
ウム	ーモグラ叩き?-	日本赤十字社北海道ブロック血液センター
(7月8日-9日, 札幌)	Luminex systemと輸血検査への	宮崎 孔
	応用	日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	血小板貪食試験を用いた血小板	髙橋大輔
	輸血効果の評価	日本赤十字社北海道ブロック血液センター

	個別NATスクリーニングの現状と	坂田秀勝
	課題	日本赤十字社北海道ブロック血液センター
平成28年度 第1回 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)「経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止,病態解明,治療等に関する研究」班会議(8月6日,東京)	北海道内献血者におけるHEV 感染の動向 (2016年上半期)	坂田秀勝 ¹⁾ , 豊田九朗 ²⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 日本赤十字社血液事業本部
34th International Congress of the ISBT (9月3日-8日,ドバイ,アラブ 首長国連邦)	=	D. Takahashi ¹⁾ , S. Onogaki ¹⁾ , T. Miyazaki ¹⁾ , W. Ohashi ¹⁾ , S. Sato ¹⁾ , T. Kato ¹⁾ , H. Ikeda ²⁾ , T. Yamamoto ²⁾ , S. Kino ¹⁾ , S. Takamoto ¹⁾ ¹⁾ Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Center ²⁾ Hokkaido Red Cross Blood Center
	_ =	Y. Hayashi ¹⁾ , S. Wakamoto ¹⁾ , H. Fuse ¹⁾ , M. Fujihara ¹⁾ , M. Endo ¹⁾ , C. Homma ¹⁾ , T. Yamamoto ²⁾ , H. Ikeda ²⁾ , S. Kino ¹⁾ , S. Takamoto ¹⁾ ¹⁾ Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Center ²⁾ Hokkaido Red Cross Blood Center
第40回日本血液事業学会 総会 (10月4日-6日,名古屋)	アフェレーシスナースの役割	算用子裕美 ¹⁾ , 荒木あゆみ ¹⁾ , 金井ひろみ ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 髙本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	供給部門との連携について	菅原拓男 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	個別NAT導入による現状と課題	坂田秀勝 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		内藤友紀 ¹⁾ , 佐藤聡一 ¹⁾ , 内藤 祐 ¹⁾ , 横山雅敏 ¹⁾ , 秋野光明 ³⁾ , 遠藤正浩 ¹⁾ , 本間稚広 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター ³⁾ 日本赤十字社血液事業本部
	若年層献血の推進について 〜将来を見据えた献血〜	片原浩二 ¹⁾ , 鈴木清晃 ¹⁾ , 松田由浩 ¹⁾ , 兼松藤男 ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 髙本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	北海道ブロックにおける経営改善 に向けた取組みについて	高橋博道 ¹⁾ , 小田好子 ¹⁾ , 髙橋愛里 ¹⁾ , 板井義仁 ¹⁾ , 掛端俊博 ¹⁾ , 館石尚広 ¹⁾ , 皆川信也 ¹⁾ , 村井利文 ¹⁾ , 兼松藤男 ²⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター

製造	業務における新入職員に対	樋口敏生 ¹⁾ ,大川知佐子 ¹⁾ ,中島剛史 ¹⁾ ,
する	教育訓練の取り組み	後藤亜由美1),遠藤正浩1),本間稚広1),
		山本 哲2,池田久實2,紀野修一1,髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
LD 松.	受入時に 恩焦が確認された	布施久恵 ¹⁾ , 若本志乃舞 ¹⁾ , 林 宜亨 ¹⁾ ,
	板製剤の性状評価	藤原満博1),遠藤正浩1),本間稚広11,山本 哲2),
1111.71,	(及灸月)・クロエイバ 計画	池田久實2),紀野修一1),髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
		一杉芽美 ¹⁾ , 渕崎晶弘 ^{1,2)} , 柴 雅之 ¹⁾ ,
ーが	品質に及ぼす影響	宮島晴子1),林 宜亨3),有澤史倫3),布施久恵3),
		内藤 祐³), 若本志乃舞³), 藤原満博³),
		金子祐次 ^{1,4)} , 小野寺秀一 ^{1,4)} , 茶谷 真 ^{1,4)} ,
		栗原勝彦4),森 純平2),小池敏靖1,2),
		寺田あかね ²⁾ , 大橋祥朗 ^{2,5)} , 永井 正 ¹⁾ ,
		佐竹正博 ¹⁾
		1) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
		2) 日本赤十字社近畿ブロック血液センター
		3) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		4 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター
		5) 日本赤十字社中四国ブロック血液センター
血小	板分割製剤の品質について	渕崎晶弘 ^{1,2)} , 一杉芽美 ²⁾ , 柴 雅之 ²⁾ ,
		宮島晴子2),林 宜亨3),有澤史倫3),
		布施久恵 ³⁾ , 内藤 祐 ³⁾ , 若本志乃舞 ³⁾ ,
		藤原満博3),金子祐次2,4),小野寺秀一2,4),
		茶谷 真 ^{2,4)} , 栗原勝彦 ⁴⁾ , 森 純平 ¹⁾ ,
		小池敏靖 ^{1,2)} , 寺田あかね ¹⁾ , 大橋祥朗 ^{1,5)} ,
		永井 正 ^{2,4)} , 佐竹正博 ²⁾
		ルテーエー, 任日正将 1) 日本赤十字社近畿ブロック血液センター
		2) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
		3 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		4 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター
11.24	**************************************	5) 日本赤十字社中四国ブロック血液センター
		皆川信也1),渡邊雅大1),宮﨑博之1),村井利文1),
(業務	その棚卸) について	兼松藤男 ²⁾ ,加藤俊明 ¹⁾ ,紀野修一 ¹⁾ ,山本 哲 ²⁾ ,
		高本 滋 ¹⁾
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
原料	血液輸送管理による製造業務	梅田浩介1),遠藤正浩1,本間稚広1,村井利文1,
の効	率化	兼松藤男2),山本 哲2),池田久實2),紀野修一1),
		髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		²⁾ 北海道赤十字血液センター
医療	安全ネットワークを通じた看護	勝井多紀江, 山本 健, 芳賀寛史, 森下勝哉,
部門	に対するMR活動	菅原拓男, 紀野修一, 髙本 滋
		日本赤十字社北海道ブロック血液センター
献血	制度等にかかる教職員研修	鈴木清晃 ¹⁾ , 片原浩二 ¹⁾ , 松田由浩 ¹⁾ , 兼松藤男 ¹⁾ ,
会		山本 哲1), 髙本 滋2)
	血セミナー開催について~	1) 北海道赤十字血液センター
пи		2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		ロイツーナエ北西坦ノロソノ単似にイクー

VVR 転倒による受診事例の分析と 対応策 〜過去10年間の事例検討〜	城戸弥生 ¹ , 増川みゆき ¹ , 算用子裕美 ¹ , 荒木あゆみ ¹ , 薄木幸子 ¹ , 金井ひろみ ¹ , 山本 哲 ¹ , 髙本 滋 ² ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
移転2年目における献血者数増加 の取り組み	國分英明 ¹⁾ , 斉藤 仁 ¹⁾ , 和田光弘 ¹⁾ , 松田由浩 ¹⁾ , 兼松藤男 ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 髙本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
北海道の献血者における梅毒 陽性率の推移	後藤智哉 ¹⁾ , 大和田尚 ¹⁾ , 伊原弘美 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
ボウイルスB19陽性例の分子系統 樹解析	吉政 隆 ¹ , 坂田秀勝 ¹ , 飯田樹里 ¹ , 宮崎 孔 ¹ , 佐藤進一郎 ¹ , 加藤俊明 ¹ , 池田久實 ² , 山本 哲 ² , 紀野修一 ¹ , 髙本 滋 ¹ ¹ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ² 北海道赤十字血液センター
献血協力の実態	石井めぐみ ¹⁾ , 奈良和幸 ¹ , 岡地秀平 ¹ , 富山 努 ¹⁾ , 鈴木清晃 ¹⁾ , 片原浩二 ¹⁾ , 松田由浩 ¹⁾ , 兼松藤男 ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 髙本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
ICFA法の追加ビーズのみ陽性となるHLA抗体の臨床的意義	徳島恵里奈 ¹), 髙橋大輔 ¹), 中野 学 ¹), 小野垣沙知 ¹ ¹), 村井悠紗 ¹ ¹ , 宮崎 孔 ¹), 佐藤進一郎 ¹), 加藤俊明 ¹), 山本 哲 ² 池田久實 ²), 紀野修一 ¹), 髙本 滋 ¹ ¹) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²) 北海道赤十字血液センター
果のWeb閲覧機能の再説明と検査 サービス通知書の郵送停止の取組 みについて	安田倫章 ¹⁾ , 中嶋智行 ¹⁾ , 小島 聡 ¹⁾ , 岡地秀平 ²⁾ , 鈴木清晃 ²⁾ , 片原浩二 ²⁾ , 松田由浩 ²⁾ , 菅原拓男 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
解析	工藤総一 ¹), 尾山秀明 ¹), 坂田秀勝 ¹), 伊原弘美 ¹), 佐藤進一郎 ¹), 加藤俊明 ¹), 池田久實 ²), 紀野修一 ¹), 山本 哲 ²), 髙本 滋 ¹) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²) 北海道赤十字血液センター
への取り組みについて	西田志保 ¹⁾ , 櫻井未来子 ¹⁾ , 山本定光 ¹⁾ , 木下 透 ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 髙本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター 長野和歌子 ¹⁾ , 算用子裕美 ¹⁾ , 荒木あゆみ ¹⁾ ,
の取り組み	金井ひろみ ¹⁾ , 山本 哲 ¹⁾ , 塚田克史 ²⁾ , 高本 滋 ²⁾ ¹⁾ 北海道赤十字血液センター ²⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター

	製剤集約後の原料血液輸送にかかる血液製剤の品質データ	有澤史倫 ¹⁾ , 内藤 祐 ¹⁾ , 秋野光明 ³⁾ , 遠藤正浩 ¹⁾ , 本間稚広 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
	期限切れ血小板から調製した血小板溶解液による間葉系幹細胞の増幅	3) 日本赤十字社血液事業本部 若本志乃舞 ¹⁾ ,藤原満博 ¹⁾ ,遠藤正浩 ¹⁾ , 本間稚広 ¹⁾ ,七戸秀夫 ³⁾ ,寶金清博 ³⁾ , 山本 哲 ²⁾ ,池田久實 ²⁾ ,紀野修一 ¹⁾ ,高本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
	合成血院内調製のための技術研修会	3) 北海道大学病院脳神経外科 内藤 祐 ¹⁾ ,本間 淳 ¹⁾ ,遠藤正浩 ¹⁾ , 本間稚広 ¹⁾ ,山本 哲 ²⁾ ,池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ ,高本 滋 ¹⁾ 1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
	インシデント事例における再発 防止策の取り組みについて	2) 北海道赤十字血液センター 原 和敬¹),渡部礼子¹),斉藤和哉¹),鈴木一彦¹), 塚田好晃¹),兼松藤男¹,山本 哲¹),髙本 滋²) ¹) 北海道赤十字血液センター ²) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
第25回日本組織適合性学 大会 (10月22日-24日, 札幌)	血小板輸血不応におけるHLA 抗体の臨床的意義	
	HLA抗体の特異性同定試薬の 比較検討	中野 学 ¹), 徳島恵里奈 ¹), 小野垣沙知 ¹), 村井悠紗 ¹), 工藤総一 ¹), 髙橋大輔 ¹), 大橋 恒 ¹), 佐藤進一郎 ¹), 加藤俊明 ¹), 山本 哲 ²), 池田久實 ¹), 紀野修一 ¹), 髙本 滋 ¹) ¹) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²) 北海道赤十字血液センター
第24回日本消化器関連 学会週間 JDDW 2016 (11月3日-6日, 神戸)	抗 HBs 人 免 疫 グロブリン 製 剤 (HBIG) 国内自給へ向けた取り組みーHBワクチン追加接種プログラムー	1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
第50回日本臨床検査医学会北海道支部総会(11月5日,旭川)	PANTHERシステムを用いた献血 者個別検体による核酸増幅検査	平塚紘大 ¹⁾ , 中内健太 ¹⁾ , 坂田秀勝 ¹⁾ , 尾山秀明 ¹⁾ , 伊原弘美 ¹⁾ , 岸本信一 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター
	Luminex System を用いたHNA ジェノタイピング法の開発	小野垣沙知 ¹⁾ , 髙橋大輔 ¹⁾ , 大橋 恒 ¹⁾ , 佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 池田久實 ²⁾ , 紀野修一 ¹⁾ , 髙本 滋 ¹⁾ ¹⁾ 日本赤十字社北海道ブロック血液センター ²⁾ 北海道赤十字血液センター

第60回日本輸血・細胞治療		髙橋道範 ^{1,2)} , 谷越悠耶 ^{1,3)} , 坂口良典 ^{1,4)} ,
学会北海道支部例会	各施設の輸血体制の問題	三浦邦彦 ^{1,5)} ,大橋 恒 ^{1,6)} ,高橋智哉 ^{1,7)} ,
(11月26日, 札幌)		遠藤輝夫 ^{1,8)}
		¹⁾ 日本輸血·輸血細胞治療学会北海道支部認定
		輸血検査技師協議会
		② 第一岸本臨床検査センター
		③ 砂川市立病院
		⁴⁾ NTT東日本札幌病院
		5) 手稲渓仁会病院
		6) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		7) 吉田学園医療歯科専門学校
		8) 札幌医科大学付属病院
	輸血用血液製剤の採血から供給	向野弘人1), 紀野修一2), 鈴木一彦1),
	までの期間について	山本 哲1), 髙本 滋2), 加藤俊明3)
		1) 北海道赤十字血液センター
		2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		③ 日本赤十字社血液事業本部
	Ir ^a 抗原陰性赤血球製剤の供給	北﨑英晃1), 内村大祐1), 大橋 恒1),
	実績の評価	佐藤進一郎1),加藤俊明1),池田久實2),
		紀野修一 ¹⁾ , 山本 哲 ²⁾ , 髙本 滋 ¹⁾
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
	最近の北海道内輸血後ウイルス	森下勝哉1), 佐藤進一郎1), 菅原拓男1),
	感染発生状況	加藤俊明1),池田久實2),山本 哲2),
		紀野修一 ¹⁾ , 髙本 滋 ¹⁾
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		② 北海道赤十字血液センター
	北海道献血者から検出された	飯田樹里1),中内健太1),坂田秀勝1),
	E型肝炎ウイルスの分子系統樹	吉政 隆1), 宮崎 孔1), 長谷部千登美3),
	解析	佐藤進一郎1),加藤俊明1),池田久實2),
		山本 哲2), 紀野修一1), 髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター,
		③ 旭川赤十字病院
	北海道の献血者における梅毒	後藤智哉1), 大和田尚1), 伊原弘美1),
	陽性率の推移	佐藤進一郎 ¹⁾ , 加藤俊明 ¹⁾ , 池田久實 ²⁾ ,
		紀野修一1), 山本 哲2), 髙本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
	血液型亜型患者に対し遺伝子	村井良精1),遠藤輝夫1),盛合美加子1),
	検査が有効であった一例	宮崎 孔2,柳原希美1,3,高橋 聡1,3)
		1) 札幌医科大学附属病院
		2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		③ 札幌医科大学医学部感染制御·臨床検査医学
		講座
	改良ICFA法で検出されるHLA	徳島恵里奈1), 髙橋大輔1), 中野 学1),
	抗体の臨床的意義	小野垣沙知1), 村井悠紗1), 宮崎 孔1),
		大橋 恒1), 佐藤進一郎1), 加藤俊明1),
		山本 哲2),池田久實2),紀野修一1),高本 滋1)
		1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
		2) 北海道赤十字血液センター
		•

	会の実施 血小板製剤における凝固関連 因子活性と凝固能の評価 血液センターとの連携が有用で あったRh(-)急性大動脈解離の 1症例 北海道内献血者におけるHEV	1) 道立北見病院麻酔科 2) 道立北見病院麻酔科 3) 道立北見病院心臓血管外科 4) 道立北見病院臨床工学科 4) 道立北見病院臨床検査科 5) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター 坂田秀勝 ¹⁾ ,豊田九朗 ²⁾
研究開発法人 日本医療研究開発機構(AMED) 肝炎等克服実用化研究事業(肝炎等克服緊急対策研究事業)「経口感染によるウイルス性肝炎(A型及びE型)の感染防止,病態解明,治療等に関する研究」班会議(12月12日,東京)	感染の動向(2016年)	1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター 2) 日本赤十字社血液事業本部
		森島泰雄 ^{1,2,14} ,東 史啓 ^{3,14} ,柏瀬貢一 ^{3,14} , 折原 武 ^{4,14} ,峯元睦子 ^{5,14} ,矢部普正 ^{6,7,14} , 加藤俊一 ^{6,8,14} ,加藤剛二 ^{1,9,14} ,松本加代子 ^{1,10,14} , 甲斐俊朗 ^{11,14} ,森 鉄男 ^{12,14} ,高梨美乃子 ^{13,14} , 佐竹正博 ^{13,14} ,屋部登志雄 ^{3,14} , ¹⁾ 中部さい帯血バンク ²⁾ 愛知県がんセンター研究所 ³⁾ 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター ⁴⁾ 日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク ⁵⁾ 日本赤十字社関東甲信越さい帯血バンク ⁶⁾ 東海大学医学部小児科 ⁸⁾ 東海大学医学部小児科 ⁸⁾ 東海大学医学部小児科 ¹⁰⁾ 日本赤十字社近畿さい帯血バンク ¹¹⁾ 兵庫さい帯血バンク ¹²⁾ 日本赤十字社九州さい帯血バンク ¹³⁾ 日本赤十字社血液事業本部 ¹⁴⁾ AMED組織適合性研究班さい帯血移植共同研究 グループ
第 30 回日本自己血輸血 学会学術総会 (3月10日-11日, 横浜)	血液センターに寄せられた自己血 輸血に関する問い合わせ事例につ いて	森下勝哉, 紀野修一, 髙本 滋

3. 出版物

Publications

(1) 輸血医療における製剤・技術の新知見

第27回北海道輸血シンポジウム 高本 滋 編 柏楊印刷株式会社, 札幌, 2017.

4. 刊行論文

Published Papers

[血液事業]

(1) 遠隔管理保管庫における供給システム

塚田好晃

北海道赤十字血液センター

血液事業 39(1):66-67,2016.

(2) 供給部門との連携について

菅原拓男

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

血液事業 39(4): 755-757, 2017.

(3) Evidence-based medicine: Save blood, save lives 根拠に基づいた医療:血液を節約し、命を救え

髙本 滋

日本赤十字社北海道ブロック血液センター 輸血医療における製剤・技術の新知見 第27回北海道輸血シンポジウム(髙本 滋 編) 柏楊印刷株式会社, 札幌, 3-8, 2017.

[採血]

(4) 北海道赤十字血液センターにおける採血不適格者に対する受診勧奨の取り組み

小澤敏史1, 石川清臣3, 金井ひろみ1, 池田久實1, 山本 哲1, 髙本 滋2)

- 1) 北海道赤十字血液センター
- 2) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 3) 東京都赤十字血液センター 血液事業 39(1): 19-26, 2016.

(5) 採血副作用

紀野修一1), 柴田玲子2)

- 1) 日本赤十字社血液事業本部
- 2) 東京都赤十字血液センター 血液事業 39(1): 79, 2016.

(6) 採血副作用の捉え方-VVRを中心に-

山本 哲

北海道赤十字血液センター

血液事業 39(1):84-86,2016.

(7) アフェレーシスナースの役割

算用子裕美

北海道赤十字血液センター

血液事業 39(4): 745-747, 2017.

[血液製剤]

(8) Evaluation of ADAM-rWBC for counting residual leucocytes in leucocyte-reduced whole blood and apheresis platelet concentrates.

Wakamoto S, Fujihara M, Akino M, Katsumata M, Naito Y, Hayashi Y, Homma C, Kino S, Ikeda H, Takamoto S.

Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Center

Transfus Med. 26(3): 231-235, 2016.

(9) Influence of a 6-h interruption of agitation on in vitro properties of volume-reduced washed platelets in M-sol additive solution.

Hirayama J¹⁾, Fujihara M²⁾, Shiba M¹⁾, Ishikawa Y¹⁾, Satake M¹⁾, Tadokoro K¹⁾, Takamoto S²⁾.

- 1) Research and Development Department, Japanese Red Cross Central Blood Institute
- 2) Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Center Transfus Med. 26(4): 303-304, 2016.

(10) 新鮮凍結血漿の長期保存後の凝固因子活性

渕崎晶弘¹⁾, 森 純平¹⁾²⁾, 岩間 輝¹⁾、柴 雅之¹⁾, 内藤 祐³⁾, 林 宜亨³⁾, 秋野光明³⁾⁴⁾, 松本真実⁵⁾, 益子 毅⁵⁾, 小野寺秀一⁵⁾, 金子祐次⁵⁾, 榎本圭介⁵⁾, 茶谷 真⁵⁾, 栗原勝彦⁵⁾, 小池敏靖²⁾, 寺田あかね²⁾, 大橋祥朗²⁾, 佐竹正博¹⁾, 田所憲治¹⁾⁴⁾

- 1) 日本赤十字社血液事業本部中央血液研究所
- 2) 日本赤十字社近畿ブロック血液センター
- 3) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 4) 日本赤十字社血液事業本部
- 5) 日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター

日本輸血細胞治療学会誌 62(4):545-551,2016.

(11) 保存中に温度が上昇した赤血球製剤の品質データ

内藤 祐¹¹, 遠藤正浩¹¹, 本間稚広¹¹, 山本 哲²¹, 池田久實²¹, 紀野修一¹¹, 高本 滋¹¹

- 1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 2) 北海道赤十字血液センター

輸血医療における製剤・技術の新知見

第27回北海道輸血シンポジウム(髙本 滋 編)

柏楊印刷株式会社, 札幌, 11-15, 2016.

(12) 採血から血液調製までの時間や温度が輸血用血液に与える影響

―新鮮凍結血漿と赤血球製剤についてー

藤原満博,若本志乃舞,内藤 祐,林 宜亨,遠藤正浩,本間稚広,山本 哲,池田久實,紀野修一,髙本 滋

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

輸血医療における製剤・技術の新知見

第27回北海道輸血シンポジウム(髙本 滋 編)

柏楊印刷株式会社, 札幌, 28-32, 2016.

「血液検査]

(13) 稀な血液の検査体制の現状と課題

大橋 恒¹⁾, 三浦佳乃¹⁾, 今 絵未¹⁾, 宮崎 孔¹⁾, 佐藤進一郎¹⁾, 加藤俊明¹⁾, 紀野修一¹⁾, 髙本 滋¹⁾, 池田久實²⁾, 山本 哲²⁾

- 1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 2) 北海道赤十字血液センター

血液事業 39(1):74-76,2016.

(14) 細菌汚染副作用防止のための細菌遺伝子スクリーニング法の検討

松林幸二

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

輸血医療における製剤・技術の新知見

第27回北海道輸血シンポジウム(髙本 滋 編)

柏楊印刷株式会社, 札幌, 41-47, 2016.

[輸血感染症]

(15) ヒトパルボウイルス B19 および E 型肝炎ウイルスによる輸血感染のリスク低減化および 献血者における感染実態の解明に関する研究

坂田秀勝

日本赤十字社北海道ブロック血液センター

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers:

HUSCAP, 2017-03-23. DOI: 10.14943/doctoral.r7022.

Doc URL: http://hdl.handle.net/2115/65280

[その他]

(16) Recommendations for the electronic pre-transfusion check at the bedside

Ohsaka A¹⁾, Kato H²⁾, Kino S³⁾, Kawabata K⁴⁾, Kitazawa J⁵⁾, Sugimoto T⁶⁾, Takeshita A⁷⁾, Baba K⁸⁾, Hamaguchi M⁹⁾, Fujii Y¹⁰⁾, Horiuchi K¹¹⁾, Yonemura Y¹²⁾, Hamaguchi I¹³⁾, Handa M¹⁴⁾; Japan Society of Transfusion Medicine and Cell Therapy Working Party on Safety Management of Blood Transfusions.

- 1) Department of Transfusion Medicine and Stem Cell Regulation, Juntendo University School of Medicine
- 2) Department of Transfusion Medicine, Aichi Medical University
- 3) Japanese Red Cross Hokkaido Block Blood Centre
- 4) Division of Blood Transfusion and Transplantation Immunology, Fukushima Medical University Hospital
- 5) Division of Clinical Laboratory and Transfusion, Aomori Prefectural Central Hospital
- 6) Division of Transfusion Service, Tokai University Hospital
- 7) Department of Transfusion and Cell Therapy, Hamamatsu University School of Medicine
- 8) Department of Nursing, St. Luke's International Hospital
- 9) Japanese Red Cross Aichi Blood Centre, Aichi, Japan.
- 10) Department of Transfusion Medicine, Yamaguchi University Hospital
- 11) Division of Blood Transfusion, Shinshu University Hospital
- 12) Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy, Kumamoto University Hospital

- 13) Department of Safety Research on Blood and Biological Products, National Institute of Infectious Diseases
- 14) Department of Transfusion Medicine and Cell Therapy, Keio University Hospital Blood Transfus. 14(5): 419–24, 2016.
- (17) Feasibility and efficiency of human bone marrow stromal cell culture with allogeneic platelet lysate-supplementation for cell therapy against stroke.

Tan C¹⁾, Shichinohe H¹⁾, Wang Z¹⁾, Hamauchi S¹⁾, Abumiya T¹⁾, Nakayama N¹⁾, Kazumata K¹⁾, Ito T²⁾, Kudo K³⁾, Takamoto S⁴⁾, Houkin K¹⁾.

- 1) Department of Neurosurgery, Hokkaido University Graduate School of Medicine
- 2) Hokkaido University Hospital Clinical Research and Medical Innovation Center
- 3) Department of Radiology, Hokkaido University Graduate School of Medicine
- 4) Japanese Red Cross, Hokkaido Block Blood Center

Stem Cells Int. 2016 Article ID 6104780,

http://dx.doi.org/10.1155/2016/6104780, 2016

(18) Randomized controlled Phase III study comparing hepatic arterial infusion with systemic chemotherapy after curative resection for liver metastasis of colorectal carcinoma:

IFMC 29-0003.

Kusano M¹⁾, Honda M²⁾, Okabayashi K³⁾, Akimaru K⁴⁾, Kino S⁵⁾, Tsuji Y⁶⁾, Watanabe M⁷⁾, Suzuki S⁸⁾, Yoshikawa T⁹⁾, Sakamoto J¹⁰⁾, Oba K¹¹⁾, Saji S¹²⁾.

- 1) Department of Surgery, Kushiro Rosai Hospital
- 2) Department of Surgery, Southern TOHOKU General Hospital, Southern TOHOKU Research Institute for Neuroscience
- 3) Department of Surgery, Keio University School of Medicine
- 4) Department of Surgery, Machida Keisen Hospital
- 5) Department of Medical Laboratory and Blood Center, Asahikawa Medical University
- 6) Department of Surgery, Hijirigaoka Hospital, Date
- 7) Department of Gastrointestinal Surgery, Toho University
- 8) Department of Surgery, Totsuka Kyouritsu Daiichi Hospital
- 9) Department of Gastrointestinal Surgery, Kanagawa Cancer Center
- 10) Department of Surgery, Tokai Central Hospital, Kakamigahara

- 11) Translational Research and Clinical Trial Center, Hokkaido University Hospital
- 12) Japanese Foundation for Multidisciplinary Treatment of Cancer
- J Cancer Res Ther. 13(1): 84-90, 2017.

(19) 診療科別輸血製剤副作用発生率の調査

藤井康彦¹⁾, 田中朝志²⁾, 小高千加子³⁾, 加藤栄史⁴⁾, 米村雄士⁵⁾, 藤島直仁⁶⁾, 佐々木さき子⁷⁾, 奈良崎正俊⁸⁾, 大澤俊也⁹⁾, 田崎哲典¹⁰⁾, 吉場史朗¹¹⁾, 岩尾憲明¹²⁾, 越知則予¹³⁾, 小林洋子¹⁴⁾, 橋本 誠¹⁵⁾, 児玉るみ¹⁶⁾, 川野洋之¹⁷⁾, 竹ノ内博之¹⁸⁾, 金光 靖¹⁹⁾, 野間口由利子²⁰⁾, 紀野修一²¹⁾, 五十嵐 滋²²⁾, 石井博之²³⁾, 大谷慎一²⁴⁾, 大隈 和³⁾, 岡崎 仁²⁵⁾, 北澤淳一²⁶⁾, 日野 学²²⁾, 百瀬俊也²²⁾, 浜口 功³⁾

- 1) 山口大学
- 2) 東京医科大学八王子医療センター
- 3) 国立感染症研究所
- 4) 愛知医科大学
- 5) 熊本大学
- 6) 秋田大学
- 7) 岩手医科大学
- 8) 山形大学
- 9) 順天堂大学
- 10) 東京慈恵会医科大学
- 11) 東海大学
- 12) 山梨大学 (現順天堂大学)
- 13) 名古屋市立大学
- 14) 福井大学
- 15) 神戸大学
- 16) 島根大学
- 17) 久留米大学
- 18) 宮崎大学
- 19) 近畿大学
- 20) 福岡大学
- 21) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 22) 日本赤十字社

- 23) 日本血液製剤機構
- 24) 北里大学
- 25) 東京大学
- 26) 福島医科大学

日本輸血細胞治療学会誌 62(3):451-458,2016.

(20) 科学的根拠に基づいた赤血球製剤の使用ガイドライン

米村雄士¹⁾¹⁵⁾, 松本雅則²⁾¹⁵⁾, 稲田英一³⁾¹⁵⁾, 上田恭典⁴⁾¹⁵⁾, 大石晃嗣⁵⁾¹⁵⁾, 紀野修一⁶⁾¹⁵⁾, 久保隆彦⁷⁾¹⁵⁾, 熊川みどり⁸⁾¹⁵⁾, 末岡榮三朗⁹⁾¹⁵⁾, 園木孝志¹⁰⁾¹⁵⁾, 長井一浩¹¹⁾¹⁵⁾, 藤島直仁¹²⁾¹⁵⁾, 脇本信博¹³⁾¹⁵⁾, 松下 正¹⁴⁾¹⁵⁾

- 1) 熊本大学医学部附属病院輸血•細胞治療部
- 2) 奈良県立医科大学輸血部
- 3) 順天堂大学麻酔科・ペインクリニック
- 4) 倉敷中央病院血液内科
- 5) 三重大学医学部附属病院輸血部
- 6) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 7) シロタ産婦人科
- 8) 福岡大学病院輸血部
- 9) 佐賀大学医学部臨床檢查医学
- 10) 和歌山県立医科大学血液内科
- 11) 長崎大学病院細胞療法部
- 12) 秋田大学医学部附属病院輸血部
- 13) 帝京大学医学部附属病院整形外科
- 14) 名古屋大学医学部附属病院輸血部
- 15) 日本輸血・細胞治療学会ガイドライン委員会 赤血球製剤の使用指針策定に関するタスクフォース委員

日本輸血細胞治療学会誌 62(6):641-650,2016.

(21) クリオプレシピテート院内作製プロトコール

大石晃嗣¹⁾¹⁶⁾, 松本剛史¹⁾¹⁶⁾, 田中由美¹⁾, 牧野茂義²⁾¹⁶⁾, 玉木茂久³⁾¹⁶⁾, 森 恵子³⁾, 藤盛好啓⁴⁾¹⁶⁾, 池本純子⁴⁾, 岩尾憲明⁵⁾¹⁶⁾, 加藤栄史⁶⁾¹⁶⁾, 紀野修一⁷⁾¹⁶⁾, 竹下明裕⁸⁾¹⁶⁾, 山田千亜希⁸⁾, 藤井 聡⁹⁾¹⁰⁾¹⁶⁾, 渡辺直樹¹⁰⁾, 大塚浩平¹⁰⁾, 山本晃士¹¹⁾¹⁶⁾, 星野鉱二¹²⁾, 宮崎研一¹³⁾, 前田平生¹⁴⁾¹⁶⁾, 宮田茂樹¹⁵⁾¹⁶⁾

- 1) 三重大学医学部附属病院輸血部
- 2) 虎の門病院輸血部
- 3) 伊勢赤十字病院輸血細胞治療部
- 4) 兵庫医科大学病院輸血・細胞治療センター
- 5) 順天堂大学医学部附属静岡病院血液内科
- 6) 愛知医科大学病院輸血部・細胞治療センター
- 7) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター副所長
- 8) 浜松医科大学医学部附属病院輸血•細胞治療部
- 9) 旭川医科大学臨床檢查医学講座
- 10) 旭川医科大学病院臨床検査・輸血部
- 11) 埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞医療部
- 12) 岡崎市民病院輸血部
- 13) 焼津市立総合病院中央検査科
- 14) 埼玉医科大学総合医療センター輸血細胞治療部
- 15) 国立循環器病研究センター輸血管理室
- 16) 日本輸血・細胞治療学会クリオプレシピテートの院内調製基準作成タスクフォース 委員会

日本輸血細胞治療学会誌 62(6):664-672,2016.

(22) 2013 年血液管理及び実施体制と血液製剤使用実態調査報告 ~300 床未満の施設に 焦点を当てて~

北澤淳一¹⁾,田中朝志²⁾,牧野茂義³⁾,紀野修一⁴⁾,佐川公矯⁵⁾,髙橋孝喜⁶⁾, 半田 誠⁷⁾

- 1) 青森県立中央病院臨床検査部
- 2) 東京医科大学八王子医療センター臨床検査医学科・輸血部
- 3) 虎の門病院輸血部
- 4) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 5) 福岡県赤十字血液センター
- 6) 日本赤十字社血液事業本部
- 7) 慶應義塾大学医学部輸血・細胞療法センター

日本輸血細胞治療学会誌 62(6):689-698,2016

(23) 貯血式自己血輸血の適応

紀野修一

日本赤十字社北海道ブロック血液センター 日本臨床 75(増刊号): 634-640, 2017.

(24) PBM における臨床検査技師の役割

紀野修一

日本赤十字社北海道ブロック血液センター 輸血医療における製剤・技術の新知見 第27回北海道輸血シンポジウム(髙本 滋 編) 柏楊印刷株式会社, 札幌, 124-127, 2016.

(25) ヘモビジランス (血液安全監視) 体制のあり方に関する研究 (H25-医薬-指定-001)

-新たな血液製剤管理情報収集のためのオンラインシステムの開発-

紀野修一1), 大谷慎一2), 石坂秀門3), 浜口 功4)

- 1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 2) 北里大学医学部 輸血・細胞治療学
- 3) 大和市立病院
- 4) 国立感染症研究所 血液•安全性研究部

厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究 事業 へモビジランス (血液安全監視) 体制のあり方に関する研究

平成25~27年度総合研究報告書

15-25, 2016.

(26) ヘモビジランス (血液安全監視) 体制のあり方に関する研究(H25-医薬-指定-001)

新たな血液製剤管理情報収集のためのオンラインシステムの開発ー

紀野修一1),大谷慎一2),石坂秀門3),浜口 功4)

- 1) 日本赤十字社北海道ブロック血液センター
- 2) 北里大学医学部 輸血·細胞治療学
- 3) 大和市立病院
- 4) 国立感染症研究所 血液•安全性研究部

厚生労働科学研究費補助金医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業 へモビジランス(血液安全監視)体制のあり方に関する研究

平成27年度総括・分担研究報告書(編者:浜口 功)

13-22, 2016.